

【1】アンケートの実施状況

那珂市内の高校に通う学生の自転車の利用状況を把握するため、以下の要領で、アンケートを実施しました。

1. アンケートの調査対象

- ・那珂市内の高等学校2年生（県立水戸農業高等学校、県立那珂高等学校）を対象

2. 実施期間

- ・配布：令和2年1月20日（月）～1月22日（水）
- ・回収：令和2年1月24日（金）

3. アンケートの回収状況

| | 那珂高等学校 | 水戸農業高等学校 | 合計 |
|-----|--------|----------|-----|
| 回収数 | 139 | 161 | 86% |
| 配布数 | 201 | 279 | 72% |
| 回収率 | 340 | 440 | 77% |

4. 主な質問内容

（1）基本属性

- ・居住地区、性別、バイクの運転免許証の有無

（2）自転車所有の状況

- ・自転車の有無、自転車保険の加入状況

（3）日常的な生活圏

- ・主な交通手段

（4）自転車利用の状況

- ・自転車の利用頻度、通学時間、道路のどこを走るか、安全対策
- ・「自転車安全利用五則」の認知度、危険な経験・行為
- ・危険な場所

【2】アンケートの調査結果の概要

1. 回答者の基本属性

【質問1】回答者の居住地

回答者の居住地区をみると、「市外」からの通学者が8割となっています。

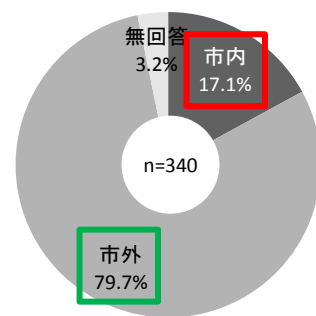
市内からの通学者では、「菅谷」が半数近くを占めています。

市外からの通学者では、「水戸市」が最も多く、市内からの通学者よりも多くなっています。その他、「ひたちなか市」「常陸大宮市」などが多くなっています。

表一回答者の居住地（SA）

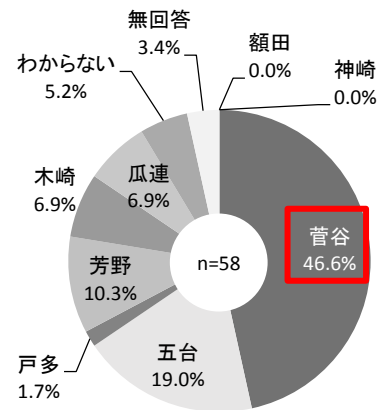
| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|------|-----|--------|--------|
| 1 市内 | 58 | 17.1% | 17.6% |
| 2 市外 | 271 | 79.7% | 82.4% |
| 無回答 | 11 | 3.2% | - |
| n= | 340 | 100.0% | 329 |

図一回答者の居住地（SA）



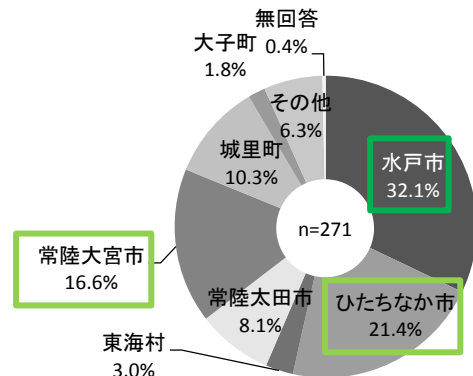
表一那珂市内（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|---------|-----|--------|--------|
| 1 神崎 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 2 額田 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 3 菅谷 | 27 | 46.6% | 48.2% |
| 4 五台 | 11 | 19.0% | 19.6% |
| 5 戸多 | 1 | 1.7% | 1.8% |
| 6 芳野 | 6 | 10.3% | 10.7% |
| 7 木崎 | 4 | 6.9% | 7.1% |
| 8 瓜連 | 4 | 6.9% | 7.1% |
| 9 わからない | 3 | 5.2% | 5.4% |
| 無回答 | 2 | 3.4% | - |
| n= | 58 | 100.0% | 56 |



表一那珂市外（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|----------|-----|--------|--------|
| 1 水戸市 | 87 | 32.1% | 32.2% |
| 2 ひたちなか市 | 58 | 21.4% | 21.5% |
| 3 東海村 | 8 | 3.0% | 3.0% |
| 4 常陸太田市 | 22 | 8.1% | 8.1% |
| 5 常陸大宮市 | 45 | 16.6% | 16.7% |
| 6 城里町 | 28 | 10.3% | 10.4% |
| 7 大子町 | 5 | 1.8% | 1.9% |
| 8 その他 | 17 | 6.3% | 6.3% |
| 無回答 | 1 | 0.4% | - |
| n= | 271 | 100.0% | 270 |



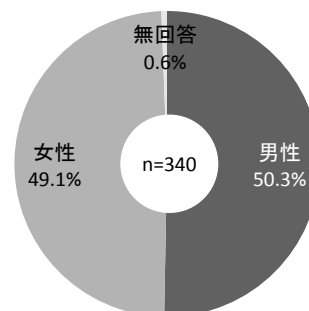
【質問2】回答者の性別

回答者の性別をみると、男女の割合はほぼ半数ずつとなっています。

表－回答者の性別（SA）

| | 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|---|-----|-----|--------|--------|
| 1 | 男性 | 171 | 50.3% | 50.6% |
| 2 | 女性 | 167 | 49.1% | 49.4% |
| | 無回答 | 2 | 0.6% | - |
| | n= | 340 | 100.0% | 338 |

図－回答者の性別（SA）



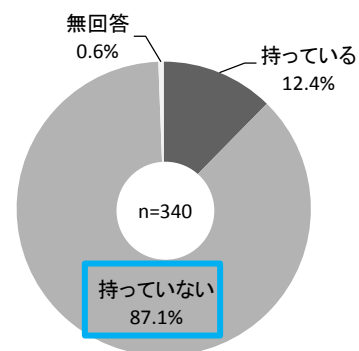
【質問3】バイクの運転免許を持っているか

回答者のバイクの運転免許の所有状況をみると、「持っていない」が約9割となっています。

表－バイクの運転免許の有無（SA）

| | 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|---|--------|-----|--------|--------|
| 1 | 持っている | 42 | 12.4% | 12.4% |
| 2 | 持っていない | 296 | 87.1% | 87.6% |
| | 無回答 | 2 | 0.6% | - |
| | n= | 340 | 100.0% | 338 |

図－バイクの運転免許の有無（SA）



2. 自転車所有の状況

【質問4】自転車の所有状況

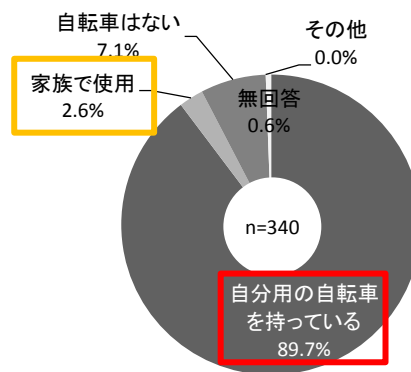
回答者の自転車の所有状況を見ると、「自分の自転車を持っている」学生は約9割で、「家族で使用」する自転車がある人を含めると9割以上が自転車を所有する状況となっています。

また、所有する自分の自転車の種類は、「シティサイクル（ママチャリ等）」が9割となっています。

表－回答者の自転車の所有状況（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|----------------|-----|--------|--------|
| 1 自分の自転車を持っている | 305 | 89.7% | 90.2% |
| 2 家族で使用 | 9 | 2.6% | 2.7% |
| 3 自転車はない | 24 | 7.1% | 7.1% |
| 4 その他 | 0 | 0.0% | 0.0% |
| 無回答 | 2 | 0.6% | - |
| n= | 340 | 100.0% | 338 |

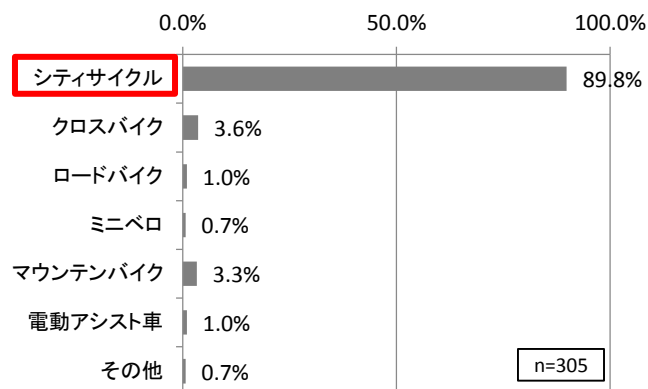
図－回答者の自転車の所有状況（SA）



表－自分の自転車の種類（MA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|------------|-----|--------|--------|
| 1 シティサイクル | 274 | 89.8% | 92.3% |
| 2 クロスバイク | 11 | 3.6% | 3.7% |
| 3 ロードバイク | 3 | 1.0% | 1.0% |
| 4 ミニベロ | 2 | 0.7% | 0.7% |
| 5 マウンテンバイク | 10 | 3.3% | 3.4% |
| 6 電動アシスト車 | 3 | 1.0% | 1.0% |
| 7 その他 | 2 | 0.7% | 0.7% |
| 無回答 | 8 | 2.6% | - |
| (合計) | 313 | 102.6% | 102.7% |
| n= | 305 | 100.0% | 297 |

図－自分の自転車の種類（MA）



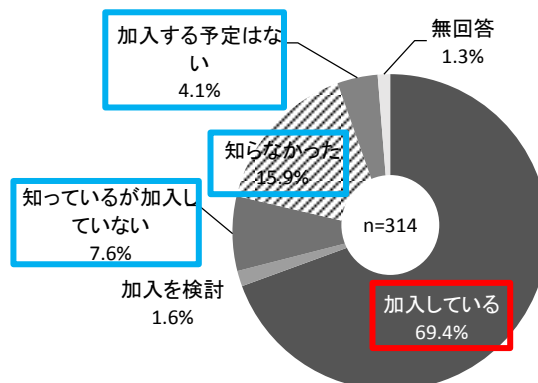
【質問5】自転車保険への加入

【質問4】で自転車を持っている学生の中で、「自転車保険に加入している」学生が7割いる一方で、「知っているが加入していない」「知らなかった」「加入する予定はない」が3割弱となっており、保険の必要性についての意識啓発が課題となっています。

表－自転車保険への加入（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|-----------------|-----|--------|--------|
| 1 加入している | 218 | 69.4% | 70.3% |
| 2 加入を検討 | 5 | 1.6% | 1.6% |
| 3 知っているが加入していない | 24 | 7.6% | 7.7% |
| 4 知らなかった | 50 | 15.9% | 16.1% |
| 5 加入する予定はない | 13 | 4.1% | 4.2% |
| 無回答 | 4 | 1.3% | - |
| n= | 314 | 100.0% | 310 |

図－自転車保険への加入（SA）



3. 日常的な生活圏

【質問6】どのような交通手段を利用しているか

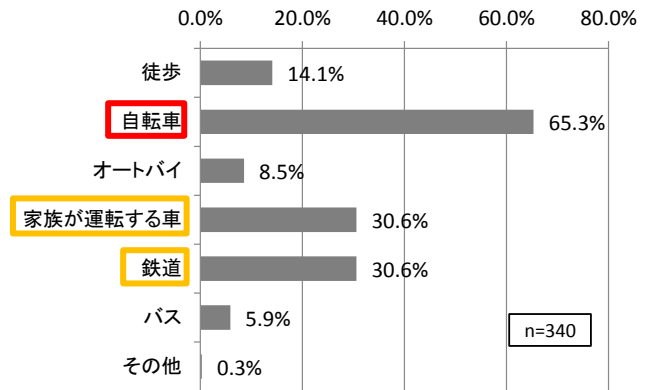
普段どのような交通手段を利用しているかをみると、平日（通学）は「自転車」が6割を超え、「家族が運転する車」「鉄道」が3割ずつとなっています。

表ー平日 交通手段（MA※）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|------------|-----|--------|--------|
| 1 徒歩 | 48 | 14.1% | 14.2% |
| 2 自転車 | 222 | 65.3% | 65.7% |
| 3 オートバイ | 29 | 8.5% | 8.6% |
| 4 家族が運転する車 | 104 | 30.6% | 30.8% |
| 5 鉄道 | 104 | 30.6% | 30.8% |
| 6 バス | 20 | 5.9% | 5.9% |
| 7 その他 | 1 | 0.3% | 0.3% |
| 無回答 | 2 | 0.6% | - |
| (合計) | 530 | 155.9% | 156.2% |
| n= | 340 | 100.0% | 338 |

※2つまで選択

図ー平日 交通手段（MA）



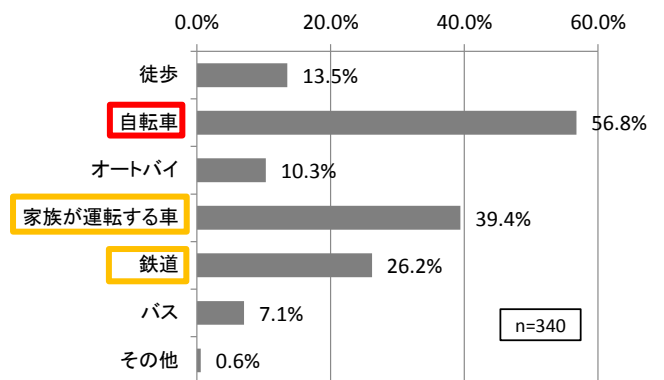
土日祝日の交通手段については、「自転車」が6割未満と平日よりも少なく、「家族が運転する車」が4割となっています。

表ー土日祝日 交通手段（MA※）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|------------|-----|--------|--------|
| 1 徒歩 | 46 | 13.5% | 13.8% |
| 2 自転車 | 193 | 56.8% | 58.0% |
| 3 オートバイ | 35 | 10.3% | 10.5% |
| 4 家族が運転する車 | 134 | 39.4% | 40.2% |
| 5 鉄道 | 89 | 26.2% | 26.7% |
| 6 バス | 24 | 7.1% | 7.2% |
| 7 その他 | 2 | 0.6% | 0.6% |
| 無回答 | 7 | 2.1% | - |
| (合計) | 530 | 155.9% | 157.1% |
| n= | 340 | 100.0% | 333 |

※2つまで選択

図ー土日祝日 交通手段（MA）



4. 自転車利用の状況

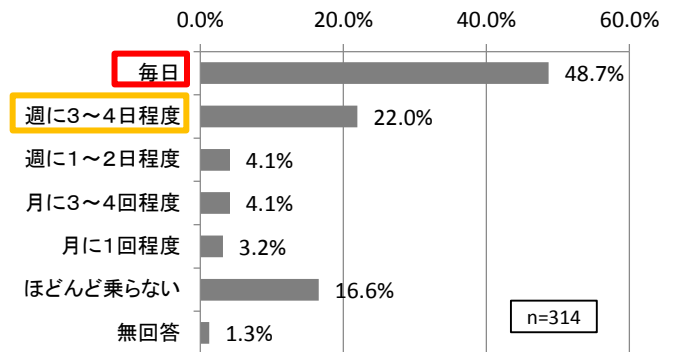
【質問7】自転車の利用頻度

自転車所有者について自転車の利用頻度をみると、「毎日」が5割、「週に3～4日程度」が2割で、市民アンケートと比較して利用頻度が高くなっています。

表－自転車の利用頻度（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|------------|-----|--------|--------|
| 1 毎日 | 153 | 48.7% | 49.4% |
| 2 週に3～4日程度 | 69 | 22.0% | 22.3% |
| 3 週に1～2日程度 | 13 | 4.1% | 4.2% |
| 4 月に3～4回程度 | 13 | 4.1% | 4.2% |
| 5 月に1回程度 | 10 | 3.2% | 3.2% |
| 6 ほとんど乗らない | 52 | 16.6% | 16.8% |
| 無回答 | 4 | 1.3% | - |
| n= | 314 | 100.0% | 310 |

図－自転車の利用頻度（SA）



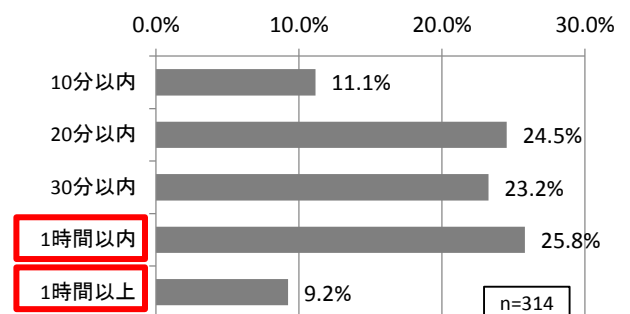
【質問8】自転車での通学時間

自転車所有者について自転車での通学時間（片道）をみると、30分以内が6割であるものの、「1時間以内」が2.5割、「1時間以上」が1割おり、比較的通学時間の長い学生が多くなっています。

表－自転車での通学時間（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|---------|-----|--------|--------|
| 1 10分以内 | 35 | 11.1% | 11.9% |
| 2 20分以内 | 77 | 24.5% | 26.1% |
| 3 30分以内 | 73 | 23.2% | 24.7% |
| 4 1時間以内 | 81 | 25.8% | 27.5% |
| 5 1時間以上 | 29 | 9.2% | 9.8% |
| 無回答 | 19 | 6.1% | - |
| n= | 314 | 100.0% | 295 |

図－自転車での通学時間（SA）



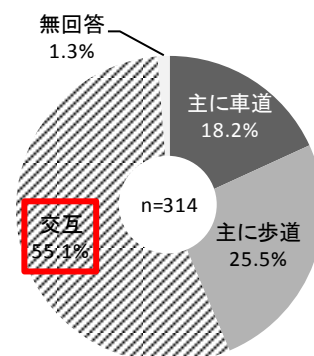
【質問9】道路を走る際、主にどこを走るか

自転車所有者について道路の主はどこを走るかをみると、「交互」が半数以上で、「主に歩道」が2.5割、「主に車道」が2割弱となっており、自転車の走行位置・方向の適切な誘導等が課題となっています。

表－自転車でどこを走るか（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|--------|-----|--------|--------|
| 1 主に車道 | 57 | 18.2% | 18.4% |
| 2 主に歩道 | 80 | 25.5% | 25.8% |
| 3 交互 | 173 | 55.1% | 55.8% |
| 無回答 | 4 | 1.3% | - |
| n= | 314 | 100.0% | 310 |

図－自転車でどこを走るか（SA）



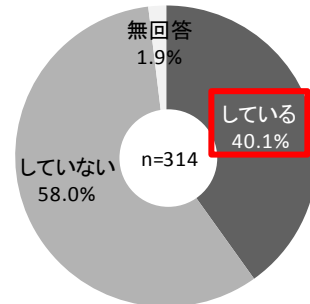
【質問 10】安全対策はしているか

自転車所有者について安全対策をみると、「安全対策をしている」が4割で市民アンケート（3割）より高いものの、全体の6割は「安全対策をしていない」と回答しており、自転車利用の促進に際して、安全対策の必要性への理解が課題となっています。

表－安全対策の有無（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | （除無回答） |
|---------|-----|--------|--------|
| 1 している | 126 | 40.1% | 40.9% |
| 2 していない | 182 | 58.0% | 59.1% |
| 無回答 | 6 | 1.9% | - |
| n= | 314 | 100.0% | 308 |

図－安全対策の有無（SA）



■10-1 具体的な安全対策

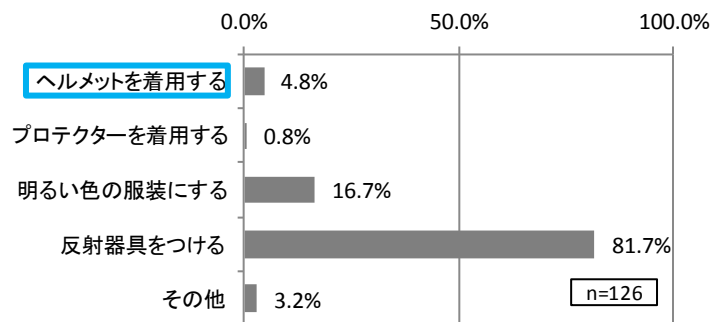
また、「している」と回答した学生について、どのような安全対策をしているかをみると、「反射器具をつける」が8割で最も多くなっています。

一方、「ヘルメットを着用する」は5%程度となっており、市民アンケートの回答（2割）よりも低くなっています。

表－具体的な安全対策（MA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | （除無回答） |
|---------------|-----|--------|--------|
| 1 ヘルメットを着用する | 6 | 4.8% | 4.8% |
| 2 プロテクターを着用する | 1 | 0.8% | 0.8% |
| 3 明るい色の服装にする | 21 | 16.7% | 16.9% |
| 4 反射器具をつける | 103 | 81.7% | 83.1% |
| 5 その他 | 4 | 3.2% | 3.2% |
| 無回答 | 2 | 1.6% | - |
| （合計） | 137 | 108.7% | 108.9% |
| n= | 126 | 100.0% | 124 |

図－具体的な安全対策（MA）



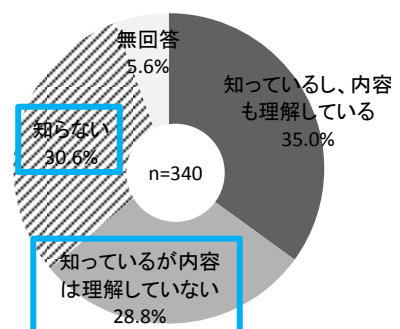
【質問 11】「自転車安全利用五則」を知っているか

回答者全員について「自転車安全利用五則」の周知状況を見ると、「知っているし、内容も理解している」が3.5割で、「知っているが内容は理解していない」又は「知らない」が約6割となっており、高校生においても「自転車安全利用五則」の周知徹底が必要と考えられます。

表－「自転車安全利用五則」の周知状況（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | 構成比 |
|--------------------|-----|--------|-------|
| 1 知っているし、内容も理解している | 119 | 35.0% | 37.1% |
| 2 知っているが内容は理解していない | 98 | 28.8% | 30.5% |
| 3 知らない | 104 | 30.6% | 32.4% |
| 無回答 | 19 | 5.6% | - |
| n= | 340 | 100.0% | 321 |

図－「自転車安全利用五則」の周知状況（SA）



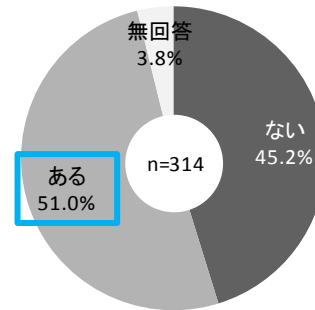
【質問 12】 自転車に乗っているときや他人との自転車との間での危険な経験の有無

自転車所有者について、自転車に乗っている時や他人が乗っている自転車との間で危険な経験をしたことがあるかをみると、「ある」が半数以上となっています。

表－自転車での危険な経験（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|------|-----|--------|--------|
| 1 ない | 142 | 45.2% | 47.0% |
| 2 ある | 160 | 51.0% | 53.0% |
| 無回答 | 12 | 3.8% | - |
| n= | 314 | 100.0% | 302 |

図－自転車での危険な経験（SA）



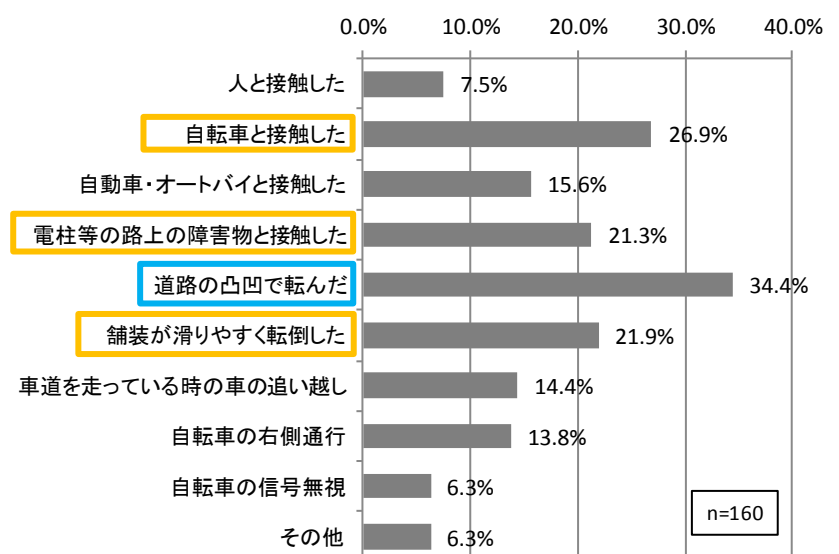
■12-1 危険な経験の具体的な内容

自転車に乗っている時や他人が乗っている自転車との間で経験したこと(質問 12 で「2. ある」と答えた方のみ)を具体的にみると、「道路の凸凹で転んだ」が3割以上で最も多く、次いで「自転車と接触した」「舗装が滑りやすく転倒した」「電柱などの路上の障害物と接触した」が2割以上で多くなっており、走行環境の改善が課題となっています。

表－危険な経験の具体的な内容（MA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|--------------------|-----|--------|--------|
| 1 人と接触した | 12 | 7.5% | 7.7% |
| 2 自転車と接触した | 43 | 26.9% | 27.6% |
| 3 自動車・オートバイと接触した | 25 | 15.6% | 16.0% |
| 4 電柱等の路上の障害物と接触した | 34 | 21.3% | 21.8% |
| 5 道路の凸凹で転んだ | 55 | 34.4% | 35.3% |
| 6 舗装が滑りやすく転倒した | 35 | 21.9% | 22.4% |
| 7 車道を走っている時の車の追い越し | 23 | 14.4% | 14.7% |
| 8 自転車の右側通行 | 22 | 13.8% | 14.1% |
| 9 自転車の信号無視 | 10 | 6.3% | 6.4% |
| 10 その他 | 10 | 6.3% | 6.4% |
| 無回答 | 4 | 2.5% | - |
| (合計) | 273 | 170.6% | 172.4% |
| n= | 160 | 100.0% | 156 |

図－自転車での危険な経験の内容（MA）



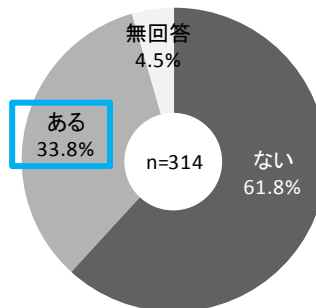
【質問 13】 自転車で危険な行為をした経験

自転車所有者について、自転車で危険な行為をしたことがあるかをみると、「ある」が3割となっており、市民アンケートで自転車に乗っている人をみて危険だと思う人の割合（9割）と比較すると学生の危険行為に対する認識の低さがうかがえます。

表－自転車で危険な行為をした経験（SA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|------|-----|--------|--------|
| 1 ない | 194 | 61.8% | 64.7% |
| 2 ある | 106 | 33.8% | 35.3% |
| 無回答 | 14 | 4.5% | - |
| n= | 314 | 100.0% | 300 |

図－自転車で危険な行為をした経験（SA）



■13-1 具体的な危険行為

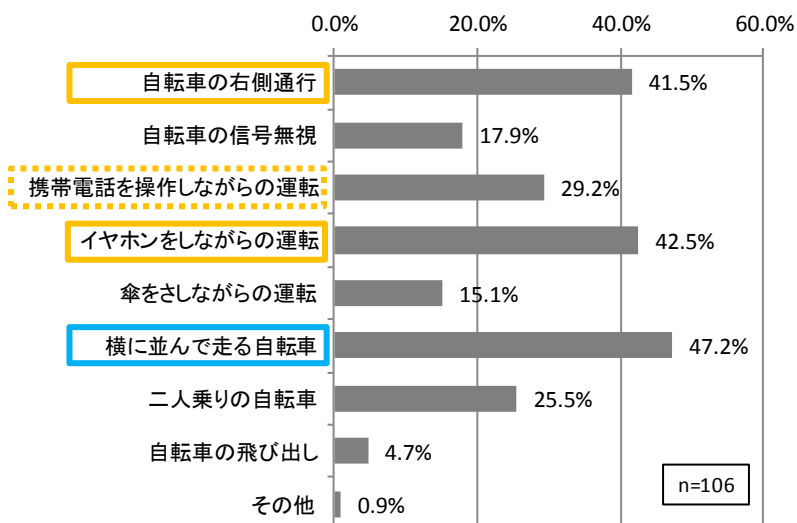
自転車でしたことのある危険な行為（質問13で「2. ある」と答えた方のみ）を具体的にみると、「横に並んで走る」が5割で最も多く、次いで「イヤホンをしながらの運転」、「自転車の右側通行」となっています。

一方で、市民アンケートで指摘の多かった「携帯電話を操作しながらの運転」（5割）について、学生では3割程度にとどまっており、危険行為に対する認識の差がうかがえます。

表－具体的な危険行為（MA）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | (除無回答) |
|------------------|-----|--------|--------|
| 1 自転車の右側通行 | 44 | 41.5% | 42.3% |
| 2 自転車の信号無視 | 19 | 17.9% | 18.3% |
| 3 携帯電話を操作しながらの運転 | 31 | 29.2% | 29.8% |
| 4 イヤホンをしながらの運転 | 45 | 42.5% | 43.3% |
| 5 傘をさしながらの運転 | 16 | 15.1% | 15.4% |
| 6 横に並んで走る自転車 | 50 | 47.2% | 48.1% |
| 7 二人乗りの自転車 | 27 | 25.5% | 26.0% |
| 8 自転車の飛び出し | 5 | 4.7% | 4.8% |
| 9 その他 | 1 | 0.9% | 1.0% |
| 無回答 | 2 | 1.9% | - |
| (合計) | 240 | 226.4% | 228.8% |
| n= | 106 | 100.0% | 104 |

表－具体的な危険行為（MA）



【質問 14】 自転車通行が危険だと思う場所

市内で自転車通行が危険だと思う場所については 31 件（全体の約 1 割）の記載があり、具体的な場所については、学校の周辺や通学路、後台駅周辺などの意見が挙がっています。

表一 自転車通行が危険だと思う場所（自由記載）

| 選択肢 | 回答数 | 構成比 | 構成比 |
|--------|-----|--------|--------|
| 1 記入あり | 31 | 9.1% | 100.0% |
| 無回答 | 309 | 90.9% | - |
| n= | 340 | 100.0% | 31 |

■ 具体的な危険箇所（主な記述）

- 国道沿い
 - 県道 172 号線、額田南郷田彦線
 - 前にミニストップがあったところの奥の田彦と津田につながる道のところの車が信号無視やスピードを出しすぎたりルールを守ってなくて危ない。
 - セブン那珂堀之内の陸橋が急だと思う。
 - はやかわ店のあたり
 - 茨大過ぎた坂、田んぼ道
 - 吉田神社の近くの林道
 - 戸崎地区全体が街灯が少なく夜通るとき危ない。
 - 那珂市全域
-
- 全体的な学校のまわり
 - 水農のバスターミナル前
 - 水戸農業高校の正門前の歩行道路、せまくて危ない。
 - 学校前の道路（他 1 件）
 - 通学路の道路が凸凹が多く、自転車の道路は幅が狭く車に接触しやすく、とても危険だと思う。
-
- 後台駅から、那珂高、水農までの道。乗り方のマナーが悪い人がいます。
 - 後台からの左側に白線がないところ
 - 後台駅、後台駅の信号
-
- 家の近くの道に街灯が少ない
 - 鏡がないところ
 - ガソリンスタンドの溝
 - 道が狭い。暗い。
 - 主に高校生が歩道に入って歩行者をベルでどかし、無理やり通る。
 - ほとんどの信号で主にプリウスなどが信号無視をしていることが多い。
 - 狭い道なのに車が速くて自転車に乗っている人が危ない。
 - 場所等の指定はなく、所々家の塀等がじゃまで車が来るのが見えなくとても危険
 - カーブミラーを見ない運転手